

## 縁結び課

### 1 三木創生の推進

人口減少に歯止めをかけ、まちの将来の展望を拓くため、令和5年度は、「第2期三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」について、第1期に引き続き推進及び検証を行った。

#### (1) 三木市創生計画策定検証委員会の開催

産・官・学・金・労・言・士（産業団体・官公庁・大学・金融機関・労働団体・マスメディア・士業）の各界と市民が委員として参画する三木市創生計画策定検証委員会を開催し、三木創生で取り組む施策による効果を検証した。委員会は、新しい働き方への対応から、対面式とオンラインによるハイブリッド型で開催した。また、これまでの委員会において各委員からいただいた意見を参考に、令和5年度から新たに進めている地方創生に向けた取組を共有し、意見交換を行った。

##### ア 第1回三木市創生計画策定検証委員会

- (ア) 開催日 令和5年8月22日
- (イ) 内容 第2期三木市創生計画の検証等

##### イ 第2回三木市創生計画策定検証委員会

- (ア) 開催日 令和6年2月20日
- (イ) 内容 第2期三木市創生計画の検証及び第5版への改定等

#### (2) 第2期創生計画の改定

国及び県の新たな動きや新型コロナウイルス感染症による社会の変化等を踏まえ、市として創生計画を進めるなかで生じた一部事業の方向性や目標値の変更を行い、「三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」を改定した。

- ア 改定日 令和6年3月31日
- イ 計画の期間 令和2年度～令和6年度

#### (3) 連携による事業

地方創生の推進に向け、地域資源を活用した様々な取組を加速するため、官公庁、民間事業者、大学等と連携し、相互のノウハウ、ネットワークなどを活用することで市の活性化に取り組んだ。

##### ア 大和ハウス工業株式会社

令和2年2月に連携協定を締結し、三木市の郊外型戸建住宅団地が抱える高齢化や、空き家などの様々な課題を解決する先行モデルとして、先進技術などを活用し、将来にわたりまちの活力を保ち続ける仕組みを導入した「多世代の住民が快適で永続的に循環しながら住み続けられるまち」づくり（団地再生プロジェクト～青山7丁目団地再耕プロジェクト～）の実現をめざす。

- (ア) 青山7丁目整備イメージ案の実現に向けた調整
  - a 交流拠点整備及び運営に係るプロポーザル公募を行った。
  - b 優先交渉事業者の選定及び交流拠点整備及び運営に係る新年度予算が承認された。
- (イ) 造成工事
  - a 交流エリア内福祉系施設整備以外の残エリアに係る造成工事に着手した。
  - b 市に寄贈された土地の外周道路工事が完了した。
- (ウ) 土地の引き渡し  
残エリアに係る引き渡しに向けた調整を開始した。

##### イ 株式会社官民連携事業研究所

令和元年9月に連携協定を締結し、三木市の地方創生に係る公民連携事業を実施した。

##### (ア) エヴィクサー株式会社

- a 期間 令和5年4月～令和5年5月
- b 内容 送迎用バスの児童置き去り防止に向け、デジタル技術を活用することで園児の安全安心の確保に加え、リアルタイムに確認通知メールが園や保護者に届き、デジタルログを残すことで点検+報告をワンストップで行い、保育園側の負担軽減を図る実証結果を考察した。

- (イ) 大塚食品株式会社
  - a 期間 令和5年4月～令和6年3月
  - b 内容 近畿大学と連携し、大豆ミートを通じた若者の意見による「環境問題」、「食糧問題」、「地域活性化」等を考える三木東高等学校アントレプレナー授業を実施した。
- (ウ) サラヤ株式会社
  - a 時期 令和5年5月
  - b 内容 子育てに係るイベント時に、アラウベビーを寄贈いただいた。
- (エ) ピップ株式会社
  - a 時期 令和5年7月
  - b 内容 市のゴルフや子育てに係るイベント時にスリムウォークを寄贈いただいた。
- (オ) 山本漢方製薬株式会社
  - a 時期 令和5年9月
  - b 内容 市の防災フェスティバルにおいて、粉末青汁を寄贈いただいた。

## ウ 兵庫県

県市協働のまちづくりに向けて様々な事業に取り組んだ。

- (ア) ひょうご TECH イノベーションプロジェクト
  - a 期間 令和5年9月～令和6年3月
  - b テーマ 「障がいがある方もない方もみんなと一緒に楽しむエンターテイメント」
  - c 内容 兵庫県が実施した県内事業者が有する情報通信技術や工業技術などを活用して地域課題の解決に取り組む事業の一環として、障害福祉課が進めるインクルーシブ社会の実現に向けて「福祉の学校」イベントを障害福祉課と協働し実施した。
- (イ) スマートシティモデル地区
  - a 期間 令和5年4月～令和6年3月
  - b 内容 兵庫県が地域特性に応じた課題に対して、民間事業者や大学等との共創を視野に ICT・データによって意欲的に課題解決に取り組む市町をモデル地区に選定するスマートシティモデル地区に三木市が選定されており、イベント等に登壇した。
- (ウ) フィールドパビリオン
  - a 期間 令和5年4月～令和6年3月
  - b 内容 兵庫県が2025大阪・関西国際博覧会を見据えて実施するひょうごフィールドパビリオンに、三木市内のプログラムが累計10件認定された。いくつかのプログラムは、モニターツアーの訪問先としても採用された。

## エ 株式会社アシックス

令和3年10月に連携協定を締結し、スポーツを軸とした先進のデジタル技術やデータの活用により、市民の健康増進や市民サービスの向上につながる取組を推進した。

- (ア) スポーツ庁 Sport in Life 推進プロジェクト(スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業)
  - a 期間 令和5年9月～
  - b 内容 スポーツ庁が募集する事業に対し、株式会社アシックス、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、TOA株式会社、ミライアプリ株式会社及び日本郵便株式会社とコンソーシアムを組み、高齢者の健康増進につながる歩行姿勢及び歩数可視化によるウォーキング実証事業を行った。

## オ 明治安田生命保険相互会社

令和3年9月に連携協定を締結し、特定健康診査の受診率向上や、市民の健康増進や市民サービスの向上につながる取組を推進した。

- (ア) タブレットを活用した市の行政サービス情報提供活動
  - a 期間 令和5年9月～
  - b 内容 三木支店において、タブレットを通じて町ぐるみ検診の啓発や子育て情報な

どの情報提供を行うサービスを開始した。

(イ) 「私の地元応援基金」寄附

- a 金額 614 千円
- b 内容 連携協定による取組の一環として、明治安田生命保険相互会社が実施する「私の地元応援基金」により、介護・認知症対策の支援として 614 千円の寄附を受納した。

カ サントリーホールディングス株式会社

令和 4 年 3 月に派遣協定を締結し、2025 大阪・関西万博を見据え、専門的知識や経験を有する民間人材を受け入れることで、外部の視点を取り入れ、地方創生の推進をより一層強化した。

(ア) 出向社員の受け入れ

- a 期間 令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月
- b 内容 大阪での「水の都大阪」の魅力を発信するコンソーシアムプロデューサーやインバウンド旅行者をターゲットとした商品造成の経験を有する社員の派遣を受け、国及び県や民間事業者との連携事業に加えて、市職員の育成等に取り組んだ。

キ 三木市ゴルフツーリズム連携支援計画の推進

三木市を中心とした産・官・学・金の各界から 6 つの支援機関が連携し、地域資源であるゴルフを核としたインバウンドゴルフツーリズムを推進するとともに、ゴルフ産業の担い手育成や先端技術を活用して生産性向上に取り組む事業を支援するための計画を策定し、令和 2 年 6 月 28 日に経済産業省から認定を受け、体験コンテンツ造成及び仕組みづくりを進めた。

ク 日本オラクル株式会社

令和 5 年 2 月に連携協定を締結した。協定事項である「地域課題の把握及び課題解決のために必要なデータや情報の提供」を実現する取組の一つとして、令和 5 年 7 月に職員向け DX ワークショップを開催した。

ケ 近畿経済産業局

2025 年に開催される大阪・関西万国博覧会を見据え、市における地域特性を生かした持続的な活力あるまちづくりを実現するため、令和 4 年 3 月に近畿経済産業局と連携協定を締結した。

また、令和 2 年 10 月に近畿経済産業局地域ブランド展開支援室が進める地域ブランドエコシステム構想に係る 10 のモデル地域（令和 3 年度 12 地域に拡大）に選定され、これまでに、他地域や民間事業者、金融機関が集い、意見交換を行う地域ブランドネットワーク会議に参画し、新たなネットワーク構築に努めた。

(ア) NEXCO 西日本福山 SA 地域ブランド PR イベント

- a 開催日 令和 5 年 3 月 16 日
- b 内容 近畿経済産業局に選定されている 12 の地域ブランドのうち、兵庫県内 4 ブランドが一堂に会し、福山 SA での PR イベントに参加した。

(イ) 近畿経済産業局主催地域ブランドネットワーク会議

- a 第 1 回地域ブランドネットワーク会議
  - (a) 開催日 令和 5 年 8 月 2 日
  - (b) 内容 地域ブランドモデル地区参加者による意見交換

(ウ) 近畿経済産業局×九州経済産業局広域連携ブランド企画

九州経済産業局から全国の産業局に対し、鹿児島県指宿市水産加工業協同組合から鯉節を削る金物を探しているとの依頼を受け、地域ブランドエコシステム構築に向け連携する近畿経済産業局からの紹介により、三木金物鮑によるコラボ商品の PR を行った。

令和 5 年 4 月 14 日に特許庁で新商品発表記者会見を実施した。

(エ) 近畿経済産業局への市職員の派遣

- a 期間 令和 4 年 4 月～令和 6 年 3 月
- b 内容 2025 大阪・関西万博を見据え、近畿経済産業局に市職員を派遣することで、国の各種制度やノウハウの吸収及び人的なネットワークを構築して、今後の持続的な施策推進に向けた環境づくりを行った。

(オ) 市職員を対象とした RESAS を活用した政策立案研修

- a 開催日 令和5年7月25日～令和5年9月15日の間に全5回開催
- b 内容 協定事項である「地方創生のより一層の推進に係る啓発並びに人財育成につながる支援」を実現するため、産業構造や人口動態、人の流れなど、国のオープンデータを集約し、可視化するシステムである「RESAS（地域経済分析システム）」と、りそな総合研究所の政策立案研修を組み合わせた市職員向けの研修を開催した。

コ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

(7) エコドライブ安全運転推進イベント

- a 期間 令和5年12月1日～12月31日
- b 内容 最先端の通信技術であるテレマティクス技術を活用し、「エコドライブ・安全運転」の見える化による市内事業者参加型イベントを開催した。

(イ) 歩行者向け交通安全セミナー

- a 開催日 令和5年12月8日
- b 内容 年末の交通事故防止月間の一環として、交通安全セミナーを開催した。

(ウ) おもちゃの寄附

- a 開催日 令和5年12月25日
- b 内容 児童センターの乳幼児用の玩具の寄付をいただいた。

サ インディアナ大学

(7) 最先端ロボット技術を活用した実証事業

- a 開催日 令和6年1月15日
- b 内容 最先端のロボット技術を活用した「ロボットが多世代のコミュニケーションや生きがいにどのような未来をもたらすのか」をテーマに、小学生、高齢者等がロボットとコミュニケーションを行う実証事業を行った。

シ 広域連携

加古川市及び三田市と連携し、子どもや認知機能低下により行方不明となる恐れのある方々の見守りをサポートし、ご本人や家族の不安や負担の軽減を目指して、「広域見守りサービス」の実証実験を実施した。

(4) 三木若者ミーティングの開催

市の施策、事業などに若者の意見を取り入れ、三木市をさらに魅力のあるまちとするため、若者の意見を聴取するイベント「三木若者ミーティング」を開催している。

令和5年度は、令和6年度にかけて初めて2か年で開催し、「三大資源を切り口に、市の10年後の未来を描こう」というテーマを設定し、未来を担う若者自身に考えてもらった。

今回は全5回を予定しており、令和5年度は第3回までを開催した。第1回はオリエンテーションを、第2回及び第3回は令和6年度に実施する発表に向けて、グループワークを行った。

- ア テーマ 三大資源を切り口に、市の10年後の未来を描こう（市政70周年事業と連携）
- イ 参加校 関西国際大学、三木高等学校、三木東高等学校、三木北高等学校、吉川高等学校、神戸星城高等学校

ウ 開催概要

(7) 第1回

- a 開催日 令和5年8月1日
- b 内容 オリエンテーション、担当課である企画政策課によるテーマについての概要説明及び三大資源の担当課からそれぞれの資源について講演グループワーク及びアイデア発表

c 参加人数 35人

(イ) 第2回

- a 開催日 令和5年8月28日
- b 内容 グループワーク及びアイデア発表

c 参加人数 45人

(ウ) 第3回

- a 開催日 令和6年3月2日

b 内 容 グループワーク及びアイデア発表

c 参加人数 34人

(5) 企業版ふるさと納税に係る取組

令和2年8月21日に認定された地域再生計画「三木市まち・ひと・しごと創生推進事業」に記載されている事業に対する、市外企業からの寄附を募った。

ア 寄附件数 8件

イ 寄附額 39,200千円

ウ 事業者名 サムティ株式会社、杉谷ポーター株式会社等その他2件(その他非公表4件)

エ 寄附目的 スマート自治体推進事業、循環型社会創造事業、インバウンド推進事業、高齢福祉事業、農業政策産業支援等、地域子育て支援拠点事業、多文化共生事業、移住支援関連事業

## 2 インバウンド戦略の推進

訪日外国人の増加に伴い、国では、訪日外国人観光客を令和2年時点で4,000万人、令和12年時点で6,000万人を目標とするなど、観光先進国をめざしていた。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた戦略に方針転換を行った。三木市においても、西日本一の数を誇るゴルフ場や金物に代表されるモノづくりの文化をはじめとした、地域資源を体験するコンテンツ造成による受入体制の構築を、公民連携により実施した。

(1) ひょうご観光本部との連携事業

ア 観光庁観光再始動事業

(ア) 開催日 令和5年7月14日 インバウンドゴルフツーリズムプレ大会  
令和5年10月12日～令和5年10月16日(酒ツーリズム)  
令和5年11月9日～18日(ゴルフツーリズム)

(イ) 内 容 観光庁が実施する「ウィズコロナにおける新しいインバウンド誘客につながるイベント募集」にひょうご観光本部、加東市ゴルフ協会とともに提案し、選定された。ゴルフツアーだけでなく地域資源に触れる体験型マルシェの開催や酒米の王者山田錦の稲刈り体験などを加えた県内5市をつなぐ広域連携のツアーを開催し、中国、インドネシア、台湾からの誘客を行った。

(2) 兵庫県万博推進課連携事業

2025大阪・関西万国博覧会を見据えた県市連携事業として外国人を対象としたモニターツアーや誘客に係る商談会に参加した。

ア ガストロノミーツアー

(ア) 開催日 令和6年2月4日

(イ) 内 容 兵庫県が2025大阪・関西万国博覧会を見据え、兵庫フィールドパピリオン事業の推進の中で、フランス人を対象としたガストロノミーツアーと連携し、金物製造体験、試飲体験を実施した。

イ 台湾商談会

(ア) 開催日 令和6年2月22日～2月26日

(イ) 内 容 関西観光本部が主催する台湾からの誘客に係る旅行商談会に参加し、兵庫県と連携したPRを行った。

(3) 内閣官房万博国際交流プログラム調査事業

内閣官房国際博覧会推進本部事務局が進める2025年大阪・関西万国を契機に、全国の各地域と万博参加国との交流を促進するための調査事業である万博国際交流プログラムの調査対象として選定され、在京都フランス領事館と連携してフランスと交流した。

ア 令和5年度内閣官房国際交流プログラムコーディネーター支援事業

(ア) 開催日 令和6年1月28日

(イ) 内 容 2025大阪・関西万国博覧会が開催される大阪を舞台に、交流を進めるフラン

スとの三木市の文化に触れる体験型イベントを実施した。

イ 2025 大阪・関西万博フランス交流事業

- (ア) 渡航日 令和5年11月22日～29日
- (イ) 内容 フランス博覧会公社及び令和5年10月、11月に三木高等学校と国際交流を行うフランス、クロミエ高校の相互訪問をきっかけに、兵庫県フランスパリ事務所に協力いただきフランス、クロミエ高校、クロミエ市、ワイナリー等と関係構築を行った。
- (ウ) 渡航日 令和6年3月20日～29日
- (エ) 内容 令和6年3月22日～24日「フランスクロミエチーズとワインの見本市」にクロミエ市の協力を得て出展し、クロミエ高校生や三木市を訪問したフランス人大学生に協力いただき三木市をPRした。また、三木金物販路開拓新商品開発に向けたワイナリー、フランス人クリエイター、販売店舗等を兵庫県フランスパリ事務所の支援を得て、関係構築を行った。

3 みきで愛（出会い）サポートセンター事業

少子化の主な要因の一つである「晩婚化」への対策として、結婚を希望する男女に出会いの場を提供する事業を「みきで愛（出会い）サポートセンター」に委託して実施した。

当センターの出会いサポート部会では、出会いサポーターが仲人役となりお見合いを実施し、成婚へと導いた。

(1) サポートセンター実績

ア 理事会等

日時・場所	内 容 等	出席人数（人）
令和5年6月19日 19:00～21:00 市役所中会議室	第1回 理事会	
	1 協議事項	
	(1) 理事長・監査役の選任について	理事 9
	(2) 令和4年度事業実績報告について	事務局 4
	(3) 令和4年度収支決算報告について	合計 13
	(4) 令和5年度事業計画（案）について	
	(5) 令和5年度収支予算（案）について	

イ サポートセンター登録者数（令和6年3月31日現在） (単位：人)

	20代	30代	40代	50代	合計
男性	4	45	53	23	125
女性	6	36	29	10	81
合計	10	81	82	33	206

ウ 成婚カップル数 6組（通算 145組）

エ メールマガジン登録状況（令和6年3月31日現在） (単位：人)

出生年代	登録数	性別	
		男性	女性
1990年代	64	25	39
1980年代	347	136	211
1970年代	202	108	94
1960年代	51	40	11
1950年代	6	5	1
合計	670	314	356

オ 広報啓発

(7) 事業イベント案内

広報みき、エフエムみつきい、県サポートセンター、神戸新聞等

(イ) センター独自ホームページ、チラシ掲示（公民館等の公共施設等）

(ウ) マスコミ取材対応等（令和5年12月読売テレビ「す・またん！」、神戸新聞令和6年1月1日～9日、全6回）

(エ) イベント出展（みつきい夏まつり、金物まつり）

(2) 出会いサポート部会

ア 出会いサポーター登録状況（令和6年3月31日現在）

（男女別）

性別	人数（人）	率（%）
男性	8	36.4
女性	14	63.6
計	22	100.0

（年代別）

年代	人数（人）	率（%）
40代	1	4.5
50代	0	0.0
60代	4	18.2
70代	12	54.6
80代	5	22.7
計	22	100.0

イ 出会いサポーターによる出会いの導きで結婚成立 6組（通算132組）

ウ 出会いサポーター活動状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

No.	内 容	件数（件）
1	出会いサポートセンター事業のPRを行った件数	1,053
2	現在、相談を受けている件数	643
3	相談者の見合う相手を探した件数	486
4	相手を見つけ紹介した件数	325
5	両者を引き合わせた（お見合いを設定した）件数	253

※出会いサポーターからの報告に基づく件数

エ 情報交換会 ※毎月第4金曜日開催

日時・場所	主な協議内容	出席人数（人）
令和5年4月28日 13:30～16:00 入札室・入札控室	第1回 1 協議事項 (1) 令和5年度の活動方針、イベントについて (2) ポスターについて 2 情報交換	サポーター 19 事務局 4 合計 23
令和5年5月26日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第2回 1 協議事項 (1) 縁結びお茶会の開催について (2) ポスターについて (3) 他市との交流研修会について 2 情報交換	サポーター 20 事務局 3 合計 23
令和5年6月23日 13:30～16:00 市役所中会議室	第3回 1 協議事項 (1) 縁結びお茶会の開催について (2) ポスターについて (3) 丹波市との情報交換会について 2 情報交換	サポーター 19 事務局 3 合計 22

令和5年7月28日 13:30~16:00 市役所中会議室	第4回 1 協議事項 (1) 縁結びお茶会の開催について (2) 県あいさぼとの合同説明会について (3) みきハートイベントについて 2 情報交換	サポーター 16 事務局 3 合計 19
令和5年8月25日 13:30~16:00 市役所中会議室	第5回 1 協議事項 (1) 縁結びお茶会の開催について (2) 県あいさぼとの合同説明会について 2 情報交換	サポーター 16 事務局 3 合計 19
令和5年9月22日 13:30~16:00 市役所中会議室	第6回 1 協議事項 (1) 縁結びお茶会の中止について (2) 県あいさぼとの合同説明会について 2 情報交換	サポーター 19 事務局 3 合計 22
令和5年10月27日 13:30~16:00 教育センター 大研修室	第7回 1 協議事項 (1) センター15周年記念について(情報交換会) (2) 丹波市との交流研修会について 2 情報交換	サポーター 17 事務局 3 合計 20
令和5年11月30日 11:00~14:00 マンション・ド・リヴァージュ	第8回 1 協議事項 (1) 神戸新聞・読売テレビからの取材依頼について (「す・またん」12/12 6:40頃放映) (2) 縁結びお茶会の開催について 2 情報交換	サポーター 15 事務局 3 合計 18
令和5年12月15日 13:30~16:00 市役所中会議室	第9回 1 協議事項 (1) 神戸新聞の広告と掲載について (2) 新年会について 2 情報交換	サポーター 19 事務局 3 合計 22
令和6年1月26日 13:30~16:00 教育センター 大研修室	第10回 1 協議事項 (1) 神戸新聞紹介記事について (2) 携帯電話の更新について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21
令和6年2月16日 13:30~16:00 教育センター 大研修室	第11回 1 協議事項 (1) 縁結びひろばについて (2) 企画「平日夜の交流セミナー」について 2 情報交換	サポーター 17 事務局 3 合計 20
令和6年3月22日 13:30~16:00 教育センター 大研修室	第12回 1 協議事項 (1) 企画「平日夜の交流セミナー」について (2) 来年度の予定について 2 情報交換	サポーター 19 事務局 3 合計 22

オ 相談者(結婚希望者)受付件数

(単位:件)

区分	男性	女性	合計
サポートセンター受付	22	16	38
出会いサポーター受付	6	10	16
合計	28	26	54

カ サポーター企画(登録者を対象としたお見合いイベント)(合計4回)

日時・場所	内 容 等	
令和5年6月25日 13:00~15:30 緑が丘地区自治会館 分館	「縁結びお茶会」 1 内 容 2 参加予定者 3 カップル成立	少人数による回転お見合い、お茶菓子をいただきながらのフリータイムを実施 男性8人 女性8人 3組
令和5年8月6日 13:00~15:30 三木南交流センター 2F会議室	「縁結びお茶会」 1 内 容 2 参加予定者 3 カップル成立	少人数による回転お見合い、お茶菓子をいただきながらのフリータイムを実施 男性7人 女性7人 4組
令和5年12月3日 13:00~15:30 三木南交流センター 2F会議室	「縁結びお茶会」 1 内 容 2 参加予定者 3 カップル成立	少人数による回転お見合い、お茶菓子をいただきながらのフリータイムを実施 男性8人 女性4人 4組
令和6年3月24日 13:00~15:30 三木南交流センター 体育館	「みき縁結びひろば」 1 内 容 2 参加予定者 3 カップル成立	回転お見合いやフリータイムを実施 男性19人 女性10人 7組

キ 赤い糸プロジェクト

相談者自らが名簿を閲覧し、気になる相手にお見合いを申し込む。

- (ア) 開設日時 毎月第2日曜日 13:00~16:00  
平日 9:00~16:00
- (イ) 開設場所 三木市立市民活動センター2階（毎月第2日曜日）  
三木市役所縁結び課内（平日）※要予約

(ウ) 名簿閲覧受付状況

(単位：人)

区分	男性	女性	合計
第2日曜日受付	41	7	48
平日受付	3	3	6
合計	44	10	54

(3) 出会い交流（みきハート）部会 （三木商工会議所青年部等で組織する）

- ア みきハート会員数 8人
- イ みきハートによる出会いの場の創出での結婚成立 0組（通算13組）
- ウ みきハート部会 1回開催（令和6年2月8日）
- エ みきハート主催お見合いパーティー等（合計0回）※  
※9月23日にビアガーデンイベントを企画したが、募集人数に達しなかった。

(4) 当センターに登録した、みきで（出会い）愛婚活応援団が主催する婚活イベントをPR

- ア みきで愛婚活応援団登録数 8団体（令和6年3月31日現在）
- イ みきで愛婚活応援団主催お見合いパーティー等（合計19回）

日時・場所	内 容 等	
令和5年4月30日 13:00~16:00 三木南交流センター 体育館	50代限定 恋するおとなの婚活パーティー 1 主 催 者 2 参 加 者 3 カップル成立	D-I planning 男性16人 女性14人 9組
令和5年5月20日 18:00~21:00 ランチバイキング 味彩苑	30-60年代別 恋するおとなの婚活パーティー 1 主 催 者 2 参 加 者 3 カップル成立	D-I planning 男性27人 女性26人 9組

令和5年6月18日 14:00~17:00 三木南交流センター 体育館	28~40歳限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性11人 女性10人 3 カップル成立 5組
令和5年7月29日 13:00~16:30 志染町公民館	20代30代限定 レクレーション婚活 1 主催者 スポーツ婚活協会 2 参加者 男性6人 女性4人 3 カップル成立 0組 (マッチングを行わない形式)
令和5年8月5日 13:00~16:00 市民活動センター	40~59歳限定 恋するおとなの夏恋パーティー ねるとんバージョン 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性15人 女性13人 3 カップル成立 8組
令和5年9月5日 13:00~14:10 オンライン	婚活・恋活オンラインセミナー Pairs×三木市 1 主催者 Pairs 2 参加者 男性11人 女性2人 3 カップル成立 0組 (マッチングを行わない)
令和5年9月16日 10:00~12:30 市民活動センター	25~39歳限定 恋するおとなの恋活パーティー ねるとんバージョン 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性12人 女性10人 3 カップル成立 8組
令和5年9月16日 13:00~16:00 市民活動センター	40~55歳限定 恋するおとなの恋活パーティー ねるとんバージョン 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性15人 女性14人 3 カップル成立 7組
令和5年9月30日 14:00~16:00 市民活動センター	男性30~49歳、女性25~45歳限定 恋活 in 三木 1 主催者 (株)999 2 参加者 男性5人 女性3人 3 カップル成立 2組
令和5年10月21日 13:00~16:00 市民活動センター	35~49歳、離婚経験&理解者限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性10人 女性10人 3 カップル成立 8組
令和5年11月19日 13:00~16:30 緑が丘町公民館	30~39歳限定 同年代と出会えるスポーツ婚活 1 主催者 スポーツ婚活協会 2 参加者 男性7人 女性8人 3 カップル成立 1組
令和5年11月26日 13:00~16:00 市民活動センター	50代・60代限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性13人 女性13人 3 カップル成立 5組
令和5年12月9日 14:00~16:00 市民活動センター	30~49歳限定 恋活 in 三木 1 主催者 (株)999 2 参加者 男性8人 女性6人 3 カップル成立 4組
令和5年12月16日 18:00~21:00 ランチバイキング 味彩苑	30代~60年代別 クリスマスディナー恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性29人 女性27人 3 カップル成立 14組
令和6年1月14日 10:00~14:00 三木南交流センター 調理室	35~49歳限定 恋するおとなの料理コン 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性12人 女性12人 3 カップル成立 12組

令和6年2月24日 14:00~16:00 市民活動センター	23~39歳限定 恋活 in 三木 1 主催者 (株)999 2 参加者 男性12人 女性12人 3 カップル成立 5組
令和6年2月25日 13:00~16:00 三木南交流センター 体育館	35~49歳、離婚経験&理解者限定 恋するおとなの恋活パーティー 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性17人 女性17人 3 カップル成立 8組
令和6年3月17日 13:00~16:00 三木南交流センター 調理室	35~49歳限定 恋するおとなの料理コン 1 主催者 D-I planning 2 参加者 男性15人 女性15人 3 カップル成立 14組
令和6年3月30日 14:00~16:00 市民活動センター	26~42歳限定 恋活 in 三木 1 主催者 (株)999 2 参加者 男性5人 女性5人 3 カップル成立 1組

#### 4 結婚新生活支援事業

若者が婚姻に伴い必要となる新生活に要する費用（物件取得費、家賃、引っ越し費用等）の一部を支援することで、市内への定住及び転入を促進した。

- (1) 件数 47件
- (2) 金額 12,540,000円

#### 5 移住・定住促進事業

市外からの若年世帯の転入を促進し、市内人口の減少及び、少子高齢化の抑制を図る。

##### (1) 移住イベントへの参加

日時・場所	内 容 等	
令和5年9月 25・26日 13:30~15:30 市民活動センター	1 主 催 三木市商工会議所 2 イベント名 合同就職面接説明会 (移住相談コーナー) 3 来 場 数 2組	
令和6年2月 27・28日 13:30~15:30 市民活動センター	1 主 催 三木市商工会議所 2 イベント名 合同就職面接説明会 (移住相談コーナー) 3 来 場 数 0組	

#### 6 ふるさと納税

ふるさと納税を推進し収入の確保を図るとともに、寄附者へお礼の品として特産品等を贈呈することで、三木の魅力を全国にPRした。

令和5年度は、2ポータルサイトを導入し、合計14サイトを活用した。大阪ガスと連携し、旅先納税を実施する「関西おでかけ納税」、JR東日本が提供している「JRE MALL ふるさと納税」に加え、他自治体とのコラボ返礼品を開発するなど、他自治体との連携を推進した。

受領した寄附金は、「こころのふるさと三木応援基金」に積み立てた。

##### (1) 寄附件数及び金額

- ア 件数 23,794件
- イ 金額 825,710,000円

##### (2) 返礼品（直営サイト分）

- ア 協賛事業者数 173社

イ 返礼品数 1,094品目

(3) 三木市ふるさと納税返礼品開発支援事業

魅力ある返礼品のさらなる開発を促進し、ふるさと納税の寄附額のアップをめざすため、新たな資金調達方法である「ふるさと納税型クラウドファンディング」を活用し、事業者の返礼品開発を支援した。

ア 申請者数 3社 ※うち2事業者は寄附募集前に辞退

イ 寄附金募集結果

プロジェクト名	事業者名	寄附金額
田んぼの中にポツンとある洋菓子屋が作る「新しい三木市の特産品づくり」を応援しよう！【地元事業者による地域活性化プロジェクト】	㈱MAQ sweet factory	47,000円

(4) 三木市ふるさと納税返礼品開発コンテスト事業

魅力ある返礼品が開発されることによるふるさと納税の寄附額アップと、三木金物の使い心地を実際体感していただくことにより、三木金物のファン及び関係人口の増加をめざすため、三木金物を使用した新たなふるさと納税返礼品を開発するコンテストを実施した。

ア 申請者数 20名 34作品

イ 選考

(ア) 一次選考

日時 令和5年8月24日(木)

方法 審査員審査

(イ) 二次選考①

日時 令和5年10月27日(金)

方法 審査員審査

(ウ) 二次審査②

日時 令和5年11月4日(土)～5日(日)※三木金物まつり期間中

方法 一般投票審査

ウ 結果

種別	作品名	クリエイター名
グランプリ	Hoshikage～星影	treehome
準グランプリ	卓上猫足花台	小さな家具屋
三木金物賞	小さな神棚 Kasagumo	TWCDesign
審査員特別賞	玉石洗い出しステップ	YAWATA KOGYO

## 7 空き家バンク事業

官民連携による市内の空き家情報をはじめ、市の制度や取組、移住者の声などを情報発信し、空き家を登録する方と探す方のマッチングを円滑・迅速化した。

(1) 登録物件数

ア 新規登録物件数 48件

イ 累計登録物件数 180件